

港区立青山小学校  
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4年生以上で「漢字を書く」問題において、目標値を下回る傾向が強くなっている。3年生からの漢字の取得は、配当漢字も多く複雑になり、つまづきやすいことが分かる。</li> <li>○各学年に共通している課題として、「指定された長さで文章を書く」や「二段落構成で書く」「自分の考えを書く」等、文章を書く領域の問題で目標値を下回った。</li> <li>○4年生以上で「説明文を読み取る」問題で目標値を下回る傾向がある。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を活用し判断する問題や、表やグラフから分かることを見つけ出す問題に課題が見られた。また、資料や年表、登場人物の話などから、事象を把握し、変化の様子やその理由を問う問題にも課題が見られた。</li> <li>○世界(赤道の位置、国旗と国の位置等)・日本の地理(国土と地形、北方領土等)に関する問題に課題が見られた</li> <li>○社会科で学習した用語の知識にも一部課題が見られた。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生：10のまとまり、時計の読み取り、グラフに表す 3年生：7の段、繰り下がり引き算、時刻と時間</li> <li>4年生：図形の性質を問う、長さ・重さの推察 5年生：面積の推察、分度器を読む</li> <li>6年生：分数と少数の関係、割合の問題、面積の問題(底辺と高さの判断)</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○植物の育ち方、昆虫の体のつくり、太陽と地面のようす等、自然観察と法則が一致していない傾向がある。</li> <li>○電気の流れ(乾電池のつなぎ方)や水や金属の体積変化等、実験に基づく知識が定着していない。</li> <li>○天気の変化(特に台風)や、植物の花と実のつくり等、自然現象を観察し知識化することに課題がある。</li> <li>○ふりこのきまり、物の溶け方等、実験結果と法則の「体験と知識の一体化」が図れていない。</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>①漢字を正しく読み書きし、活用できる。</li> <li>②目的や意図に応じて文章を書く。</li> <li>③文章の要点を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業における漢字・言葉の学習時間の確保。朝の会や家庭学習の活用、短い範囲のテストの繰り返し等を行う。また生活に根差した短文作り等、活用能力も高める。</li> <li>②書く内容を整理するメモ作りの練習を重ねたり、手順を身に付ける活動をしったりする。また、意見文、感想文等、様々な条件で書くために型を提示し、文を書くことに慣れる。</li> <li>③傍線で色分けしたり、接続語に着目したりして、小段落の中での要点、大段落での要点を整理し要旨をつかむ。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資料を正確に読み取る、それを適切に表現する。複数の資料から関連付け考える。</li> <li>②世界や日本の国土等の学習内容と、用語等の知識。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業で資料の読み取りを丁寧に扱い、推察したり考えをまとめたりする学習を行う。また、算数科と連動させ、グラフや表から分かること、予想されることを考えるスキルを積む。</li> <li>②社会科の内容と用語を関連付け、知識として定着させるよう、具体物・体験・意味理解の一致など、言葉の暗記にとどまらない工夫をする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>①身の回りの物や生活に使う各単位の量感。</li> <li>②四則計算の基礎。</li> <li>③少数・分数・百分率等の割合につながる要素を確実に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基準となる量の感覚を、具体物や身の回りの物、またイメージしやすい事例を用いて身に付ける。また理科等と連動させ、計測等体験的な活動を重視する。時計や時刻・時間は、日々の生活で使って定着を目指す。</li> <li>②計算の方法を説明できるようにし、授業の中で確実に適応問題を行う時間を設ける。</li> </ul>

		③図やマス等の具体物で量感をとらえ、理解させる工夫をする。特に数の大小、少数・分数の混じる四則計算は、必ず身の回りのとらえやすい事象に置き換えて理解させる。
--	--	--

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	①自然事象について、観察・実験を通し、必要な知識を理解する。 ②実験を通して学んだ法則や知識を身に付け般化させる。	①実験、観察、体験的活動を通して学習意欲を高め、予測や結果等の思考と振り返りを活かし、法則性を定着させる。 ②実験の目標、予想、活動、結果、法則・知識の流れを明確にし、授業後にその法則性を使った身近な事象を学び、般化につなげる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	①見つけたことや気付いたことを、文章や絵、動作化など、自分なりに表現する。 ②見つけたことや気付いたことを、比べたり例えたりして周りの人に伝える。	①・② ・活動のはじめに、学びの視点やねらいを提示する。 ・良い例示を見せ、表現活動が広がるような支援をする。 ・比べたり例えたりする表現活動を数多く経験させる。 ・多様な表現の仕方を体験させる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	①楽しく活動し、音楽表現に必要な基礎・基本の定着。 ②音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりする。 ③表したい音楽表現をするために必要な技能。	①常時活動により音楽の基礎・基本の定着を図る。 ②既習事項を活用し、表現の工夫を行う学習過程を設定する。また、学びを共有・共感する場の設定をする。 ③スモールステップ、個別指導、ペア、グループ学習等で技能を高める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	①楽しく活動し、自分の思いを広げたり、工夫したりする。 ②自分の思いを表現するために、材料や道具の使い方を工夫して表現する。 ③互いの作品の良さを感じる。 ④材料や道具の使い方を工夫して表現する。	①実態や興味に合わせた題材設定。基本的な道具の扱い方の徹底。自分の表現に自信をもたせるような声掛け。 ②視覚的な工夫をした指示・例示。 ③めあてを意識した鑑賞活動、日常的に良いもの、美しいものに気付く指導や環境づくり。 ④試行錯誤しながら取り組める題材設定。既習事項を掲示・確認することで、児童が幅広く思いを広げられるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	取得した知識や技術を、生活の中で活かそうとする実践的な態度。	○習得した知識や技術を生活の中で活かそうとする機会を設け、実践的な態度を育てる。 ○授業時には、家庭生活での具体的な場面を示し、実践しようとする態度を育てる。実習後の振り返りで、家庭で活かしていこうという記述をほめ、全体に共有する。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①友達と教え合いながら学ぶ。 ②自ら課題を見つけ運動する。 ③体力を高めるよう努力する。	①グループやチーム単位での学習を基本とし、互いに教え合い高め合える環境をつくる。 ②今の自分の力を知り、その力を伸ばすために何をすれば良いのか、具体的な方法を提示していく。 ③学習カードを使ったり、短縄月間に全校で取り組むなど、興味・関心をもって体力向上に取り組めるよう工夫する。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①英語に関心をもち、楽しくコミュニケーションしようとする。 ②簡単な語句を用い、身近なことや気持ちを伝えることができる。 ③学んだことを使い、英語で表現することができる。	①アクティビティやゲームを通し、楽しみながら英語表現を学べるようにする。 ②個人・ペア・全体等様々な形態で繰り返し発話する機会を多くする。また、日常生活で必然性のある状況を設定する。 ③ただ楽しむのではなく、有用な目標や場面設定を工夫し、具体的な場面に即した英語を使った活動を工夫する。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①自分や友達の道徳的価値観を認め、広げる。 ②普段の生活や自分のことに置き換えて考える。	①教材・題材の導入の工夫、自分の考えをもつ時間の確保、友だちとの意見交流の場、発問内容や数の厳選などを行う。 ②主題や登場人物を自分ごととして捉える課題設定の工夫をする。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	主体的に話し合いに参加し、課題の解決に積極的に関わろうとする。	話し合いの手順や考え方の出し方、相手の考えを受け入れることの大切さを指導する。話し合いについて振り返る場面を設定し、次回に生かすようにする。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①見通しをもって学習に取り組む。 ②集めた情報を意図や目的に合わせて整理・分析する。 ③当事者意識をもって課題解決に取り組む。	①事象から広がる自分の考えを見える化したもの(チャート等)を工夫する。 ②常に発表(ゴール)を見据えて、情報集積・整理・分析をしていくことを指導する。 ③解決方法について選択肢を用意し、選べるようにする。常に自分や家族、地域に立ち返って考えるよう支援する。